

4年間の流れ 2025年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:128単位  
 専門教育科目:92単位  
 全学共通科目:30単位  
 広域選択:6単位  
 選択必修:40単位  
 選択:52単位

成長のプロセス	1年次	2年次	3年次	4年次
	政治・行政の入門科目を中心に政治社会の骨組みについての知識と考え方を学ぶ。	将来の目標に応じて主体的にコースを選択し、各コースの基礎となる知識と方法を身につける。	実践や実務を視野に入れた、各コースの専門的・発展的内容を学ぶ。他学部・他学科の関連科目にもチャレンジできる。少人数の演習では、これまでの知識を応用して研究・調査する。	
選択必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本政治入門</li> <li>現代政治理論入門</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治学基礎</li> <li>憲法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代政治分析入門1</li> <li>現代政治分析入門2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際関係入門</li> <li>国際社会入門</li> </ul>
選択		<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;現代社会と政治コース&gt;</li> <li>政治学方法論1・2</li> <li>現代政治理論応用</li> <li>政治思想史</li> <li>政治制度論</li> <li>日本政治史</li> <li>ヨーロッパ政治史</li> <li>政治過程論</li> <li>国際関係論</li> <li>比較政治学</li> <li>政治社会学</li> <li>政治経済学</li> <li>外交・安全保障論</li> <li>グローバルガバナンス論</li> <li>ジェンダーと政治</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;行政・公共政策コース&gt;</li> <li>地方行政</li> <li>行政法総論</li> <li>民法(総則・物権法)</li> <li>刑法総論</li> <li>地方自治法</li> <li>都市・まちづくり論</li> <li>社会政策</li> <li>公共政策論</li> <li>政治経済学</li> <li>行政救済法</li> <li>労働法</li> <li>国際関係論</li> <li>地球環境政治論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;国際・地域研究コース&gt;</li> <li>ヨーロッパ政治史</li> <li>日本政治史</li> <li>国際関係論</li> <li>比較政治学</li> <li>外交・安全保障論</li> <li>国際法</li> <li>政治経済学</li> <li>北米政治論</li> <li>中南米政治論</li> <li>オセアニア政治論</li> <li>中東政治論</li> <li>アフリカ政治論</li> <li>東アジア政治論</li> <li>東南アジア政治論</li> <li>南アジア政治論</li> <li>ロシア政治論</li> <li>ヨーロッパ政治論</li> <li>EU政治論</li> <li>グローバルガバナンス論</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;行政・公共政策コース&gt;</li> <li>行政救済法</li> <li>労働法</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>政治学特殊講義(1)~(4)</li> <li>実務者講座</li> <li>比較憲法</li> <li>時事問題研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外交史</li> <li>国際関係とメディア</li> <li>世界政治とメディア</li> <li>国際経済論a/b</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域計画論A/B</li> <li>時事英語</li> <li>財政学</li> <li>他コースの選択必修科目など</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際紛争解決法</li> <li>社会保障法</li> <li>経済法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演習I</li> <li>外書講読IA/B(英書)</li> </ul>
				<ul style="list-style-type: none"> <li>演習II</li> <li>外書講読IIA/B(英書)</li> </ul>

卒業論文テーマ・研究課題例

- 少子化・高齢化時代の日本の労働力問題の考察
- インターネットと排外主義増大の関係
- 現代日本の安全保障戦略と中国
- アメリカのLGBT政策の揺り戻し
- 米国による半導体サプライチェーン再編
- 復交と危機管理ー東日本大震災と政治

Topics

ディベート大会



政治や社会問題、時事ネタなど、その場で与えられたテーマについて肯定派と否定派に分かれて、チームごとに意見を述べ合います。ディベートを通して、客観的な立場で物事を考え、論理的に筋道を立てて発表するという思考力や度胸が得られるほか、大会に向けた練習で仲間と過ごす時間を通して、協力する大切さを学びます。

私の 1 Week Schedule [3年次]

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
前期	1	東アジア政治論	公共政策論		都市まちづくり論	
	2	社会科学教育法V	学習・発達論	宗教学概説	数量政治学	
	3	政治心理学	経済政策	演習I		
	4	交通論a	地方行政			
	5		地方自治法			特別支援教育
	6					
後期	1		公共政策論		都市まちづくり論	
	2	社会科学教育法VI	宗教学概説	数量政治学	教育相談	
	3	政治心理学	経済政策	演習I		
	4	交通論b	地方行政			
	5		地方自治法			教育実習指導
	6					

**履修のポイント**

「政治心理学」では投票行動を中心に、政治を心理学的アプローチから考察します。数字から選挙を分析することで、「なぜ」に対する納得の答えを見つけ出すことができるのが魅力です。少子高齢化やグローバル化、情報化が進む現代社会における都市のあり方を理解するため、「都市まちづくり論」は政治家を志す私にとって必要不可欠です。

**学びから得たこと**

所属ゼミで行ったディベートで、論理的思考力が培われたと思います。自分の主張に関わらず賛否いずれかの立場に立って討論を展開し、数値やエビデンスに基づいて論理的に思考することで、本質を深く理解することができました。インカレ大会では、ディベーターとして論理的な反駁を展開しました。

Message

**山積する社会課題を理解するために政治学を専攻。**

地元の財政危機をきっかけに政治に興味を持ちました。政治の深掘りをする中で、日本には政治・経済・社会で様々な課題が山積していることを認識し、社会を動かしている政治を学び、解決の糸口を見つけようと思い、政治学科に進学しました。議員インターシップに参加し、理論だけでなく実際に国会議員のもとで活動することで、肌感覚で政治を学ぶことができ、駒澤大学の建学の理念である「行学一如」を体現していると感じます。社会課題を解決するためには、正しい分析と政策立案が要請されます。その要請に応えるために本学で培った法律論や政策論、政治理論という「知」の蓄積をもとに自身の経験をマッチさせながら社会課題を1つでも多く解決していきたいです。

